

文部科学省情報ひろば企画展示 「ぼくらのヒーローは古典から生まれた！！」

○開催概要

期 間：平成27年7月31日(金)～11月末(予定)
場 所：文部科学省情報ひろば企画展示室(旧文部省庁舎3階)
〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2
開催時間：午前10時～午後6時(土曜、日曜、祝日は休室)※入室は閉室の30分前まで
入場無料

岸本斉史さんの『NARUTOーナルトー』は、日本のみならず海外からも絶大な人気を得ていますが、その源流になった作品があるんです。それが、『じらいや ごうけつものがたり児雷也豪傑譚』です。

『みずがきえがお児雷也豪傑譚』は、みづがきえがお美図垣笑顔らによって、天保10年から明治元年(1839～1868年)にかけて書かれた43編にも及ぶ長編の合巻(絵入り小説)であり、嘉永5年(1852年)に河竹黙阿弥かわたけもくあみ原作の歌舞伎『みずがきえがお児雷也豪傑譚話』にもなっています。この作品に登場するがま蝦蟇の妖術を使う児雷也(自雷也)は、代表的な忍者キャラとして、現在に至るまで『NARUTOーナルトー』をはじめとする漫画、ゲームなどの創作に大きな影響を及ぼしてきました。

当館の「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」は、人文社会科学系として初めて「大規模学術フロンティア促進事業」に認定されました。本計画は、当館が中心となり、国内外の大学等と連携して、日本の古典籍30万点の画像化を行い、当館既存の書誌データベースと統合し、日本語の歴史的典籍データベースを作成します。その画像を用いて国際共同研究のネットワークを構築するものです。

本展示では、日本の古典が、世界でも人気を博する『NARUTOーナルトー』の源泉になっていることを解説するとともに、読みにくい「くずし字」で書かれている古典を身近なものにするための画期的な試みについても紹介します。

○主な展示物

展示パネル：当館概要、「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」の概要、『NARUTOーナルトー』の源流となった『じらいや ごうけつものがたり児雷也豪傑譚』との比較、くずし字の解説
展示資料：『しゅんしよくう めごよみ春色梅児誉美』『なんそうさとみはっけんてん南総里見八犬伝』『じらいや ごうけつものがたり児雷也豪傑譚』『げんじものがたりえまき源氏物語絵巻』
映像：資料の調査・保存、資料の収集・公開、研究・国際交流、社会活動



展示の様子



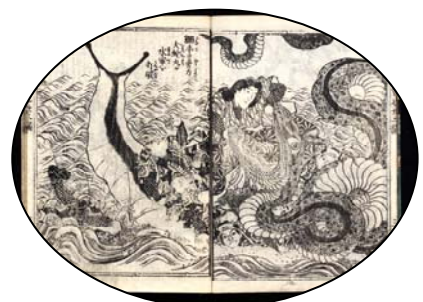
児雷也豪傑譚



大蛇丸



自来也



綱手